

岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート

基本目標	4「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」 ～安心して住みつづけられる確かな暮らしを営む地域創造戦略～				
背景と戦略の 基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ●超高齢社会の本格化に向け、医療サービスや介護サービスを利用することなく、いつまでも心身ともに健康で生き生きと暮らせるようにするため、市民一人ひとりの身体と心の健康の維持・増進を支援していく必要があります。 ●南海トラフ地震の発生が懸念されるとともに、台風や異常気象による短期集中豪雨等の自然災害も増加する中で、防災・浸水対策を進め、市民が安全に安心して暮らせる災害に強い地域社会を構築する必要があります。また、地域における自助・共助による取組を促進し総合的な防災力の強化を図るため、地域防災の中核的役割を担う消防団や自主防災組織、防災ボランティアなどの充実強化が重要です。 ●犯罪発生件数は減少傾向にあります。市内では依然として、自転車盗、自動車盗、侵入盗等が発生しており、市民が安心して暮らしていくために、防犯対策の充実が求められています。 ●本市では、市民参加のまちづくりにいち早く取り組んできており、その理念は、第3次総合計画、第4次総合計画へと受け継がれていますが、環境対策や高齢者・障害者福祉、防災・防犯への対応など、行政だけでは解決できない地域課題が顕在化しており、行政区や自治会、ボランティアや市民活動団体、NPO法人などによる多様な地域活動がますます重要になります。 ●人口減少時代に突入し、少子高齢化が進行する中で、質の高い暮らしを営むことができる地域社会を形成していくため、地域住民やボランティア、市民活動団体、NPO法人、事業者、行政などがそれぞれの個性や能力に応じて分担・協力し合って進める様々な地域課題の解決に向けた取組が定着化し、成熟した都市をめざします。 				
数値目標	指標（単位）	基準値 H25	実績値 H27	実績値 H28	目標値 H31
	定期的に健康診査を受けている市民の割合（％）	44.0	－	65.7	50.0
	地震や浸水対策など防災対策に満足している市民の割合（％）	72.4	－	75.3	80.0
	身近な地域活動が盛んであると感じている市民の割合（％）	29.8	－	25.9	35.0

施策の名称	施策の成果指標					実施内容及び評価	今後の取組及び方向性
	指標名	基準値 H26	実績値 H27	実績値 H28	目標値 H31		
施策の基本方針							
1 健康寿命の延伸	生活習慣病予防教室参加者数	721人	504人	468人	750人	<ul style="list-style-type: none"> ●保健推進員の地区活動として、全地区で歯周病予防の健康教育を実施した。平成26年度からポールウォーキングを推進しており、10地区で講習会を開催した。また、ウォーキングや健康体操など地区ごとに健康づくりに取り組んだ。 ●食生活改善推進員は、野菜の摂取を促進するため「季節の野菜プラス1品集」を作成して配布した。また、各種教室においても食生活改善の普及啓発に努めた。 ●一般高齢者を対象に、トレーニング室を活用したわくわく貯筋トレーニング教室や介護予防教室を、元気アップ高齢者を対象に介護予防教室を実施した。 ●総合体育文化センターのトレーナーと連携して、わくわく貯筋トレーニング教室及び健康チャレンジ教室を実施し、トレーナーから個別に支援が受けられるよう体制を整えた。また、健康チャレンジ教室では、特定保健指導対象者も含めて個別の栄養分析による指導を行った結果、食生活の改善点をわかりやすく示すことができた。 ●高齢者の相談・支援に柔軟かつきめ細やかに対応するため、平成28年4月から高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを市内1か所から2か所とし、体制強化を図った。 ●市内2地区の民生委員や関係者での支え合いマップの作成、市民対象の認知症映画会・講演会・勉強会の開催、介護予防教室等の実施、認知症サポーター養成など高齢者を取り巻く諸問題に対応する事業を実施して市民への周知、啓発を行うことができた。 ●平成28年度から新規事業として、40歳以上の国民健康保険加入者を対象に疾病の早期発見とその発症や進行を防止するために、人間ドック費用を助成した。 ●市民体育祭やいわくら市民健康マラソン等、市民が気軽に参加できるスポーツイベントをはじめ、武道大会や市民スポーツ大会等を体育協会やスポーツ推進委員等と協働して開催し、身近にスポーツに参加する機会を提供した。また、岩倉スポーツクラブにより、ミニテニス等年103回のスポーツ教室と、歩こう会等年4回のスポーツ交流会及び市民カローリング大会等、多くの教室や大会を開催し、家族や仲間と気軽にスポーツを体験できる機会を創出し、生涯スポーツの普及に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区保健推進員活動では、ロコモ予防の普及啓発に取り組む。 ●ポールウォーキング推進のための指導者を養成する。 ●関係課と連携して介護予防教室のあり方について検討していく。 ●特定保健指導対象者も含め、糖尿病の重症化予防に取り組んでいく。 ●地域包括ケアシステム構築のため、ICTによる在宅医療連携システムを導入し、医療と介護の円滑な情報共有の支援など在宅医療と介護の連携の推進していく。 ●地域包括支援センターや地域の関係者との情報共有などにより、連携体制の強化をしていく。 ●介護予防や認知症の講演会・講座などの開催や認知症初期集中支援チームを両包括に設置、認知症地域推進員を1名配置するなど、高齢者対策に取り組む。 ●人間ドック費用助成事業の効果的な周知に努め、受診率向上を図る。 ●引き続き、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを体育協会や岩倉スポーツクラブ、スポーツ推進委員と協力しながら開催し、幅広い世代に、身近にスポーツに参加できる機会を提供していく。 ●生涯学習課と健康課や指定管理者等
	スポーツ教室参加者数	355人	318人	324人	400人		
<ul style="list-style-type: none"> ●保健推進員や食生活改善推進員等による身近な地域を基本単位とした健康づくりや介護予防の推進、保健師等による健康教育・指導や食生活改善プログラムの作成及び特定保健指導と連携した運動プログラムを作成・実施します。また、生涯学習を通じた生きがいづくり、体力チェックの実施によるスポーツに取り組むきっかけの提供など、保健・福祉、スポーツ、生涯学習といった多分野にわたる多角的なアプローチによる「健康づくりサポート」を進めます。 							
<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が住み慣れた地域でその有する能力を最大限に発揮し、自立した生活が送れるように、地域包括支援センターを中心と位置づけ、各種関係団体の連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの構築を進めます。 							

岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況シート

施策の名称	施策の成果指標					実施内容及び評価	今後の取組及び方向性
	指標名	基準値 H26	実績値 H27	実績値 H28	目標値 H31		
施策の基本方針							
<p>総合体育文化センターにおいては、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、多種多様なスポーツ教室を開催することで、スポーツへの参加機会の拡大を図ることができた。</p> <p>●生涯学習課と健康課で共同で実施している60歳からの健康づくりを目的とした「わくわく貯筋運動」によるトレーニング室の無料パスポートの発行と健康マイレージ事業の景品として、トレーニング室利用回数券を提供し、市民の運動習慣づくりの創出に協力することができた。</p>							
2 防災・防犯対策の充実	地域合同防災訓練の実施校区数	4校	4校	5校	5校	<p>●自主防災会が主体となって実施する地域合同防災訓練はこれまで4小学校区（五条川、岩倉北、岩倉南、曾野）では実施していたが、平成29年度は岩倉東小学校区でも区域内の自主防災会に呼びかけを行い、実施することとなったが、雨天のため中止となった。また、外国人にも訓練を参加してもらう計画を進めることができた。</p> <p>●平成28年5月に大規模地震時の職員初動マニュアルを改定し、業務継続計画が有効に機能するよう初動体制を改め、平成29年2月には業務継続計画、初動マニュアルに基づくBCP対応訓練を実施した。</p> <p>●住宅の不燃化を目的として、木造住宅への感震ブレーカーの設置についての補助制度を創設し、平成28年度は32棟に補助した。</p> <p>●自主防災会が防災用備品等を購入する場合の補助金である防災対策用備品等整備費補助金は、予算額を超える申請があり、地域の防災力向上に寄与することができた。</p> <p>●平成28年度は各行政区からの防犯灯設置要望に基づき、16基LED防犯灯を新規に整備した。また、自転車盗対策のため市営駐輪場に防犯カメラ1基を新規に整備した。これらの環境整備や自主防犯活動により、自転車盗発生件数は前年に比べ10件減少することができた。</p> <p>●下水道（雨水）整備計画に基づき、雨水貯留施設である大矢公園調整池の詳細設計、並びに五条川小学校調整池整備のための法手続き及び事業計画変更を行った。大矢公園調整池の詳細設計の結果、整備計画策定時（平成18年3月）を大幅に上回る事業費となることが判明し、計画の見直しが必要になった。</p>	<p>●BCP対応訓練については、今後繰り返し実施していくことにより、災害時優先業務を行う上での問題点、改善点を見つけていき、BCPが有効に機能するようにしていく。</p> <p>●防災対策用備品整備費補助金は、市として自主防災会に備えてほしいもの（地域のマップ、備蓄食料など）の補助の拡充について検討する。</p> <p>●引き続き、防犯灯や自転車盗対策のための防犯カメラの整備を推進していく。</p> <p>●下水道（雨水）整備計画については、これまでに実施した事業の効果を検証しながら整備を進める。平成32年度までに、五条川小学校調整池を整備する予定。</p>
	犯罪発生件数	508件	527件	470件	370件		
<p>●関係機関や自主防災組織、事業所、ボランティア団体等と連携して合同で防災訓練を行うとともに、防災業務支援サービスの導入による迅速な初動体制の実現や業務継続計画（BCP）を実効性のあるものにしていくことで、防災・危機管理体制の充実に努めます。また、地域における「自助」「共助」の意識を高めるため、防災に関する啓発活動や講座開催、自主的な防災訓練の支援、資機材の援助等の充実に努めます。</p> <p>●犯罪の発生を抑制して市民を犯罪から守るため、地域安全パトロール隊や児童を見守るスクールガードなど各種団体による自主防犯活動の育成・強化を図るとともに、防犯灯や自転車盗対策のための防犯カメラの整備を推進します。</p>							
3 持続可能なまちづくりの推進	市民活動支援センター登録団体数	206団体	212団体	220団体	220団体	<p>●平成28年度は、活動拠点としてより利用しやすくするため、施設の予約可能時期を6か月前からに延長した。市民活動団体や行政の交流・情報交換の場として登録団体全体会を月1回開催している。市民活動への参加機会の拡大のため、気軽な活動の入口としてまちづくりネットワークを運用している。また、公益的な市民活動の支援として、市民活動助成金制度を実施しており、申請団体は微増している。</p> <p>●地域コミュニティ活動の支援のため、区育成補助金を交付している。また、公会堂や掲示板を充実させるための補助金も交付している。地域コミュニティと行政の情報交換等の場として区長会を年3回実施している。区の要望や意見を聴くための意見交換会を年間を通して実施している。</p> <p>●県が連携し、一般社団法人CSRコミュニティ愛知CSR推進研究会が実施するCSR推進研究会に商工会とともに参加し、地域貢献活動に積極的に取り組む地元企業への支援について研究した。</p> <p>●公共施設等総合管理計画では、前年度に引き続き3回の研究会を開催し、「岩倉市公共施設等総合管理計画」を平成29年1月に策定した。</p> <p>一方、公共施設再配置計画については、検討委員会の組織を立ち上げ、公共施設の評価・分析について、3回の検討委員会を開催した。</p> <p>●民生委員・児童委員協議会や老人クラブなどの会議に参加しながら地域福祉活動の支援を行いました。</p>	<p>●市民活動支援センターの機能充実に中心に、市民活動の活性化を図っていく。市民活動助成金については、審査会との相談や議論を深めて、よりよい制度作りを目指す。</p> <p>●既存の補助金の有効活用と並行して、行政区にとって有益な情報を発信していく。市民活動支援センターの利用促進や、協働セミナーを通じて、地域コミュニティ活動の活発化・組織の強化を目指すしていく。</p> <p>●地域貢献活動に積極的に取り組む地元企業への支援のあり方について、先進事例を参考にしながら研究に努めていく。</p> <p>●公共施設再配置計画の策定にあたり、平成29年度中に市民説明会や関係団体ヒアリングなどを実施しながら再配置計画のモデル事業案を策定する。</p> <p>●各種団体が地域とどのように関わっていくのか活動を通して、検討していく必要である。</p>
	まちづくりネットワークのマッチング件数	—	13件	21件	20件		
<p>●市民活動団体が気軽に集え、情報交換などができる場として、市民活動支援センターの機能の充実に努めるとともに、市民活動への参加機会の拡大、公益的な市民活動の自立的発展を促進します。</p> <p>●地域コミュニティの活動と組織の活性化を図るため、地域の防災・防犯活動や福祉・保健活動など地域住民が主体となった公益的な活動に対する助成・支援の充実に努めます。また、地域貢献活動に積極的に取り組む地元企業への支援について検討します。</p> <p>●将来世代に財政的な負担を残さないよう配慮しながら、公共施設等総合管理計画を策定するとともに、計画に基づき、学校施設や保育施設、公園などの老朽化している社会資本をアセットマネジメントの観点から計画的に維持・再生・有効活用します。</p>							